

SDGs

実践例紹介コーナー

今月のSDGs実践例紹介: 株式会社広和木材



STEP
01

きっかけ

きっかけは所属する経済団体の求人勉強会でした。近年の学生たちは企業のSDGs活動に関心があり、その取り組みを就職先選びの基準にしていることを知り、採用活動に活かせるかと考え取り組むことにしました。市民活動ネットワークや取引先銀行との連携を通じ、より実践的なSDGsの学びを深めました。

STEP
02

2つの秘訣

①自社事業を整理して落とし込む

もともと弊社の事業自体がSDGsと親和性が高かったため、整理していくことは比較的スムーズでした。そこからワークライフバランスなど会社組織を強化する視点を整理し、関係する全員が自分事のできるよう3つの宣言にまとめていきました。

②外部講師やアンケートなどを活用する

自社だけで考え込むのではなく、SDGsを専門にする講師にレクチャーしてもらったり、アンケートやヒアリングを通じて体系的に整理できたことは有効だったと思います。社内では「当たり前」のことも、社外から客観的な目で見るときちんと基準を満たしていることを知り、自信になりました。



STEP
03

結果

SDGsの取り組みを明文化したことで、社内外へきちんと伝える下地が整ったかと思っています。事業においてもSDGsを意識したブランディングを行い、お客様への説明や、ももとのきっかけだった採用活動にも活かしていきたいと考えています。



「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差異化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGsへ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs経営への関心も高まっています。

当所では、会員事業所の皆様のSDGs経営のサポートとして、東京海上日動火災保険株式会社の協力を得て、「SDGs取組診断」サービスを無料で実施しており、当所ホームページよりお申込みいただけます。

また、本実践例紹介コーナーの記事も初回から当所ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

企画例

■ ワークライフバランス

ぎふ建設人材育成リーディング企業の認定を受け、社員のスキルアップに対する支援を積極的に行っている。仕事と家庭のバランスに配慮した働きやすい職場づくりに努めている。



■ 自然環境・生物多様性の保全

地域材・間伐材を利用した建物や家具、小物など、自然環境に配慮した製品を提供。自社製材工場で加工することで、輸送にかかる化石燃料の使用を削減している。



■ 地域への貢献

木工体験を開催し、ものづくりの魅力を伝えながら森林環境を継続・保全していくことの大切さを伝えている。県産材の積極活用により、住み続けたい街づくりに寄与する。



今後の取り組み

安全衛生大会や木工体験、産業フェスタへの参加などで、従業員や関係会社の意識は徐々に変化してきたかと思っています。今後は数値目標を設定し、住宅建築時のCO2削減量の計算など、具体的な指標を示していく予定です。また、ぎふ建設人材育成リーディング企業の「ゴールドランク」認定を受け、ワークライフバランスやスキルアップ支援にも注力しており、働きやすい職場づくりを推進しながら、最高の住宅づくりを目指します。



▲SDGs行動宣言



▲木工体験



▲木工体験



▲木工体験



▲安全衛生大会



▲安全衛生大会



▲ぎふ産業フェスタ



▲ぎふ産業フェスタ

会社概要

事業所名 株式会社広和木材
所在地 愛知県小牧市新町56番地(小牧支店)
電話番号 0568-41-3950

1984年材木屋として創業。現在は新築注文住宅、リフォーム・リノベーション、インテリア・家具、公共施設などの施工を行う。地域材・自然素材を使い輸送コストを抑え環境負荷を軽減し、健康で快適、安心で丈夫な住まいを提供している。



代表取締役 倉野 龍和

中小企業支援ナビ代表理事

中小企業診断士

当社は、ぎふ建設人材育成リーディング企業のゴールドランク認定を受けており、働きやすい職場環境はすでに整っています。当社のその強みがお客様の暮らしにどんなメリットをもたらしているのか？お客様視点で「言語化」して従業員とお客様の幸せを実現してください。SDGs思考は企業の成長へと繋がっています。



長谷川 雅彦